

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月13日

事業名	民間放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	子ども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	単年度繰り返し	
	課	子ども課			民間放課後児童クラブ利用者負担軽減事業	款	3	新規or継続	継続事業
	係	子ども育成係			根拠法令、条例等	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	平成28	実施方法	直営	
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	終了年度			事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	公立子どもクラブ（市直営）の保育料が安価な設定になっているため、その分、公費負担が多くなっている。民間放課後児童クラブに対し、公立子どもクラブと同程度の公費負担（交付金）を行い、公立子どもクラブと民間放課後児童クラブの公費負担の較差を是正する。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	民間放課後児童クラブの保育料が減額され、公立・民間、どの子どもクラブを利用しても、利用者の負担に大差が無いことにより、市民（利用者）の選択肢は増え、個々の実情に合った子育てと仕事の両立の支援を実現することができる。
-------------------------	---

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
放課後児童クラブ利用者数（1～3年）	人		1,096	1,084	1,058	1,041
放課後児童クラブ利用者数（4～6年）	人		781	744	725	694

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	毎月、民間子どもクラブの利用者1人あたり2,000円の交付金を民間放課後児童クラブ事業者に交付する。 ・運営委託を行っている民間放課後児童クラブ 7クラブ（8支援単位） ・登録児童数 352人（令和5年5月1日現在）
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
民間放課後児童クラブ利用者負担軽減交付金交付額	千円	6,420	6,500	6,660
<b>事業費計</b>	千円	<b>6,420</b>	<b>6,500</b>	<b>6,660</b>
一般財源	千円	2,420	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	4,000	6,500	6,660
（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
放課後児童クラブ利用者数（1～3年）	人	1,230	1,253	1,296	値が大きいほど良い	効果が上がった
放課後児童クラブ利用者数（4～6年）	人	655	646	645	値が大きいほど良い	効果が下がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 1指標
	指標全体 <b>効果は変わらない</b>

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し		○	
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・民間放課後児童クラブ事業者から、公立子どもクラブ利用者との保育料格差を指摘されている。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年8月5日

事業名	民間放課後児童クラブ送迎用バス安全装置設置支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	単年度のみ
	課	こども課			款	3	新規or継続	新規事業
	係	こども育成係			項	2	市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	事業期間	開始年度	令和5	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	終了年度			事業分類	支援事業
	施策	2	子育てしやすい環境の確保					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	児童の置き去り事故防止のため、送迎用バスに安全装置の設置が義務づけられたことに伴う設置費用の一部を補助する。 ・送迎用バスへの置き去り防止のための安全装置設置に必要な経費の補助 放課後児童クラブバス1台あたり 上限88千円（国10/10）
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	民間放課後児童クラブ送迎用バスに安全装置を設置し、置き去り事故を防止することで、児童及び保護者が安心して施設を利用することができる。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
事業を実施する施設への補助額	円			176		

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	送迎用バスへの置き去り防止のためのプザーの設置に必要な経費の安全対策に資する機器等を導入するための費用の一部を補助した。 ・上限88,000円/台
--------------------------	--

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
事業を実施する施設への補助額	千円	0	0	88
<b>事業費計</b>	千円	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>88</b>
一般財源	千円	0	0	0
特定財源（国・県・他）	千円	0	0	88
（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
事業を実施する施設への補助額	円			88	値が大きいか小さい	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 1指標
	効果は変わらない指標数 0指標
	効果が下がった指標数 0指標
	指標全体 <b>効果が上がった</b>

※10万円以上の増減により判断

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し	○		
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・令和4年9月に静岡県牧之原市の認定こども園の送迎バスに置き去りにされた子どもが亡くなるという事案が発生して以来、全国で大事に至らなかったものの、繰り返し同様の送迎用バスにおける置き去り事案が起きていることを受け、送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドラインが策定された。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明	単年度（令和5年度）の事業
------	---------------

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月13日

事業名	こどもクラブ施設整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	こども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	期間限定複数年度	
	課	こども課			款	3	新規or継続	継続事業	
	係	こども育成係			項	2	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法 子ども・子育て支援法	事業期間	開始年度	平成27	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類	施設等整備事業	
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	平成24年8月に公布された「子ども・子育て関連3法」に基づく「子ども・子育て支援新制度」に対応するため、こどもクラブの6年生までの児童受入れ体制の整備を行う。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	保護者が安心して児童を預けられ、仕事との両立ができるよう、児童が放課後安心して過ごすことができる場所を整備する。
-------------------------	--

### （3）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
放課後児童クラブ数	支援単位		54	56	57	58

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	植野小学校区のこどもクラブの整備を行うため、いきいき元気館さのを一部改修し第5植野クラブを開所した。令和5年12月開所
--------------------------	---

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
放課後児童クラブ数	支援単位	55	55	56
事業費計	千円	10,368	98,058	29,694
一般財源	千円	6,904	2,716	4,004
特定財源（国・県・他）	千円	3,464	95,342	25,690
（うち受益者負担）	千円			

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	植野小学校区のこどもクラブに入所制限を行っていたが、新クラブの開所により改善が図れた。
------------------	---

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
放課後児童クラブ数	支援単位	55	55	56	値が大きいくらい	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化の進行や、共働き世帯の増加により、子どもの数は減少しても、こどもクラブ入所希望者は増加していくものと考えられる。</li> <li>・学校適正配置基本計画に基づく小中一貫校の整備に合わせて、こどもクラブの整備も検討していく。</li> </ul>
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討</li> <li><input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討</li> <li><input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討</li> <li><input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）</li> </ul>	取組説明
	・第1期こども計画策定のための行うニーズ調査を参考に、今後のこどもクラブ利用希望者数を見込み、施設整備計画を立てる。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月13日

事業名	放課後児童健全育成事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

## 1. 基本情報

担当組織	部	子ども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	単年度繰り返し	
	課	子ども課			款	3	新規or継続	継続事業	
	係	子ども育成係			項	2	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	児童福祉法	事業期間	開始年度	昭和59	実施方法	一部委託
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	佐野市子どもクラブ条例	終了年度		事業分類	その他市民に対する事業	
	施策	2	子育てしやすい環境の確保	佐野市子どもクラブ条例施行規則					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	小学校に就学している子どもで、保護者が就労等により昼間家庭にいない子どもを対象として、放課後の時間帯において子どもに適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの「遊び」及び「生活」を支援することを通して子どもの健全育成を図る。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・小学生が放課後安心して過ごすことができるようにする。 ・仕事をしながら子育てをしている保護者が子育てと仕事の両立ができるようにする。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
放課後児童クラブ入所率（1～3年生）	人		1,096	1,084	1,058	1,041
放課後児童クラブ入所率（4～6年生）	人		781	744	725	694

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	・公立子どもクラブ 43クラブ（44支援単位）※児童館以外 ・民立放課後児童クラブ 7クラブ（8支援単位）※運営委託
--------------------------	---

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
放課後児童クラブ入所児童数	人	1,885	1,899	1,941
事業費計	千円	404,588	424,682	497,342
一般財源	千円	204,938	214,067	281,559
特定財源（国・県・他）	千円	199,650	210,615	215,783
（うち受益者負担）	千円	27,298	29,757	31,094

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
放課後児童クラブ入所率（1～3年生）	人	1,230	1,253	1,296	値が大きいほど良い	効果が上がった
放課後児童クラブ入所率（4～6年生）	人	655	646	645	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用が増加した
効果（R5とR4の指標値増減）	1指標
	0指標
	1指標
指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

効果			
費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した		○	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・児童数は減少しているが、核家族化の進行や共働きの増加等により、子どもクラブ入所児童数は年々増加している。 ・保育時間延長を望む声があるため、ニーズを確認する。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）
・公立子どもクラブについては、令和7年度から新たに16クラブ（17支援単位）を民間委託するため、公募型プロポーザル方式による事業者選定を行う。 ・保育時間延長についての検討を行う。

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月13日

事業名	民間放課後児童クラブ施設整備支援事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	子ども福祉部	予算中事業名	予算科目	会計	一般会計	事業計画	単年度繰り返し	
	課	子ども課			民間放課後児童クラブ施設整備支援事業	款	3	新規or継続	継続事業
	係	子ども育成係			根拠法令、条例等	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市補助金等交付規則	事業期間	開始年度	平成25	実施方法	直営
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり	佐野市民間放課後児童クラブ施設整備費補助金交付要綱	終了年度		事業分類	支援事業	
	施策	2	子育てしやすい環境の確保						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	市が放課後児童健全育成事業の運営委託をしている民間事業者が行う施設等の整備に対し支援をする。 補助内容：補助率2分の1 限度額600,000円(放課後児童クラブの開設に伴う新築の場合、1,000,000円)
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	民間放課後児童クラブの施設を充実させることにより、児童が放課後安心して過ごすことができ、保護者が安心して預けられ、仕事との両立ができる。
-------------------------	--

### （3）目標値

目的	民間放課後児童クラブの施設を充実させることにより、児童が放課後安心して過ごすことができ、保護者が安心して預けられ、仕事との両立ができる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		支援を行った放課後児童クラブ（累計）	クラブ	5	6	7	8	9

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	活動指標	単位	R3	R4	R5
	支援する放課後児童クラブ	クラブ	0	1	0
	事業費計	千円	0	14	0
	一般財源	千円	0	14	0
	特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
	（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	支援を行った放課後児童クラブ（累計）	クラブ	0	1	0	値が大きいか小さい	効果が上がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	0指標 0指標 1指標 効果が下がった	費用は下がった	費用が増減無し	費用が増加した
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・放課後児童クラブへの入所児童数は年々増加し、公立の子どもクラブだけでは対応が困難な状況である。民間活力を利用することは効率的な事業の実施に不可欠であるため、民間事業者が行う放課後児童クラブの施設整備に対する支援を継続していく。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
---	------

# 仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年12月13日

事業名	民間放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	子ども福祉部	予算中事業名	会計	一般会計	事業計画	単年度のみ	
	課	子ども課			民間放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業	款	3 新規or継続	新規事業
	係	子ども育成係			高騰対策支援事業	項	2 市単独or国県補助	国県補助事業
政策体系	体系コード	322	名称	根拠法令、条例等	目	1 義務or任意	任意的事業	
	基本目標	3	健やかで元気に暮らせるまちづくり	佐野市民間保育施設等物価高騰対策支援金交付要綱	事業期間	開始年度 令和5	実施方法 直営	
	政策	2	安心して子育てのできるまちづくり		終了年度		事業分類 現金等給付事業	
	施策	2	子育てしやすい環境の確保					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	物価高騰の影響を受ける民間放課後児童クラブの負担を軽減し、安定的に保育の提供等を継続してもらうための緊急的対応として、電気料金等（電気・ガス）の高騰分に対する助成を行う。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	物価高騰の影響を受ける民間放課後児童クラブの負担を軽減し、安定的な保育提供を継続することで、児童が放課後安心して過ごすことができる。
-------------------------	--

### (3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
申請施設数/対象施設	%		100	100		

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	物価高騰の影響を受ける民間放課後児童クラブの負担を軽減し、安定的に保育の提供等を継続してもらうため、電気料金等（電気・ガス）の高騰分に対する助成を行った。 光熱費：上半期5万円、下半期4万円（1施設あたり） 民営放課後児童クラブ数：9施設
--------------------------	---

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
事業を実施する施設への補助	千円		1,350	810
事業費計	千円	0	1,350	810
一般財源	千円		0	0
特定財源（国・県・他）	千円		1,350	810
（うち受益者負担）	千円		0	0

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	
------------------	--

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
申請施設数/対象施設	%		100	100	値が大きいほど良い	R4とR5の比較

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断
効果（R5とR4の指標値増減）	効果が上がった指標数 0指標	
	効果は変わらない指標数 1指標	
	効果が下がった指標数 0指標	
	指標全体	効果は変わらない

費用	効果		
	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用が下がった			
費用の増減無し		○	
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

県において電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金（国庫）を活用した「保育施設等物価高騰対策事業費補助金」が創設され、各市町が窓口となった支援策が実施されることとなった。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）